

多井畑西地区の自然環境の特性

魅力あふれる里地里山

多井畑西地区で観察できる生物資源

当地区では、自然観察等の環境学習等に活用可能な多くの魅力ある動植物を確認しました。

～耕作地・草地～

<植物>

ツリガネニンジン・ワレモコウ・ゲンノショウコ・キツネノマゴ・アキノタムラソウ・ミゾソバ・シロバナサクラタデ・センニンソウ・ツルウメモドキ・カラスウリ・ノブドウ・アオツツラフジ・クコ・ヤマノイモ・ノビル・イタドリ など



<動物>

哺乳類：モグラ類

鳥類：キジ・トビ・ハシボソガラス・モズ・ウグイス・ジョウビタキ・アトリ・カワラワ・マヒワ・ベニマシコ・ホオジロ など

爬虫類：ニホンカナヘビ

昆虫類：モンシロチョウ・キタキチョウ・ウラナミシジミ・ツマグロヒョウモン・オンブバッタ・ヒナバッタ・コバネイナゴ・ハラヒシバッタ・エンマコオロギ・クビキリギス・オオハナアブ・ニホンミツバチ・ナナホシテントウ など



確認された生きもの ～樹林～

<植物>

クヌギ・コナラ・アラカシ・ウバメガシ・アキノレ・サクラ・カゴノキ・ヤブツバキ・コバノミツバツツジ・コウゾ・コウヤボウキ など



<動物>

哺乳類：ホンドタヌキ・ホンドテン・アライグマ など

鳥類：アオバト・ハイタカ・フクロウ・コゲラ・アカゲラ・ヤマガラ・シジュウカラ・エナガ・メジロ など

昆虫類：クロコノマチョウ・ムラサキシジミ・オオスズメバチ・ハラビロカマキリ



多井畑西地区の自然環境の特性

魅力あふれる里地里山



フクロウ



コゲラ



シジュウカラ



エナガ



クロコノマチョウ

確認された生きもの ～水辺～

<動物>

鳥 類：オシドリ・アオサギ・ダイサギ・キセキレイ・セグロセキレイ など

爬虫類：ジムグリ

昆虫類：オオアオイトトンボ・コノシメトンボ など

魚 類：ニホンウナギ・カワムツ・モツゴ・カワヨシノボリ・ブルーギル など

両生類：セトウチサンショウウオ



オシドリ



アオサギ



ジムグリ



コノシメトンボ



ニホンウナギ



カワムツ

魅力あふれる里地里山を守るために

当地区に、耕作地などの明るい良く手入れされた草地環境にしか生育しない全国的にも希少な植物が残っていることは特筆すべき事項です。また、生態系の上位種であるホンドキツネやフクロウも生息しており、ネズミ類や昆虫類などが豊富に生息する里地里山環境が残っていることが示唆されます。その他、当地区で見られる動植物の多くは、里地里山環境に依存する種であり、当地区の地権者の方が耕作等を行うことにより、生息・生育が維持されてきたと言えます。人の手を入れなければ、これらの種は、耕作地の放棄や里山の荒廃によりいずれは生息・生育することができなくなります。

当地区の課題

<竹林の拡大>

放棄された耕作地の多くが、現在は竹林となっており、竹林はさらに周囲に拡大し続けています。竹林の拡大により、周辺の雑木林も竹林へと置き換わりつつあり、多様性の低い林へと変貌しつつあります。

現在は、フクロウなどの生息できる環境が残っていますが、今後、生物多様性豊かな樹林を維持するためには、竹林の拡大を防ぐ必要があります。



<耕作地の維持>

明るい日当たりの良い環境を好む草地性の動植物の生息・生育環境を守るためには、年数回の草刈り等が欠かせません。これまでは、当地区の耕作地の畔や土手がきれいに手入れされており、そのような環境が維持されてきました。

今後も地権者の方が耕作地を維持できるような環境整備、また、放棄耕作地を市民農園等に活用することによる耕作地面積の拡大が望まれます。



<樹林の整備>

かつて薪炭林として利用されていた樹林は、人の手が入らなくなり、竹林の拡大だけでなく、鬱蒼とした暗い林に変わりつつあります。生物多様性豊かな樹林を維持するためには、間伐や下草刈りなどを行い、明るい林を創出・維持することも重要です。

<水辺の整備>

当地区に生き残っていたセトウチサンショウウオなどは、山裾の小さな水たまりなどでも繁殖しますが、移動能力が低いいため、コンクリート護岸やU字溝などが設置されると成体が過ぐる樹林との行き来ができなくなり、生息できなくなります。

また、当地区で確認されたニホンウナギは、海で産卵し、川で成長するため、海と行き来できる連続性が必要です。

そのようや陸域と水域の連続性や海と川との連続性に配慮した水辺の整備が望まれます。